

詳細 3 :

危険な走行状況でドライバーをサポートするドライバーアシスタンス

Audi Q9 は、包括的なアクティブおよびパッシブセーフティテクノロジーを備えています。主な機能は以下の通りです。 :

- 自動緊急ブレーキシステム：歩行者および自転車検知機能を備えた、前方および後方衝突回避機能
- ブラインドスポットモニタリング：隣接車線に車両が存在する場合、視覚的な警告を表示
- リヤクロストラフィックアラート：駐車スペースから後退する際に接近する車両の警告
- 360 度カメラシステム：駐車や取り回しのためのマルチビューアングルを備えたサラウンドビューカメラ
- パークアシスト：ステアリング、加速、ブレーキをコントロールし、縦列駐車および直角駐車を自動で行う
- トレーラーマニューバーアシスト： トレーラー連結しながら後退する際のステアリングを操作。ドライバーは MMI ディスプレイで進行方向をコントロール
- トレーラースタビリティコントロール：トレーラーの横揺れを検知し、各ホイールに的確に制動を配分して車両を安定化
- 統合型トレーラーブレーキコントロール：トレーラーブレーキをシームレスに制御。

衝突を防止するエグジットワーニング

エグジットワーニングは、様々な道路利用者が存在する都市部の交通環境において安全性を高める Audi Q9 の機能です。リヤバンパーに装着されたレーダーセンサーが、停車中の Audi Q9 周辺を監視し、接近する車両や自転車、歩行者を検知します。衝突の可能性を検知した場合、ドアが開くのを制御、あるいはドアが開き始めていたら停止するとともに、コミュニケーションライトおよびプロジェクションライトによる警告を表示します。この機能は、ルームミラーを使用できない後部座席の乗員（特に子供たち）を守るためにも設計されています。

エマージェンシーアシストが車両を安全に停止

Audi Q9 には、路肩への退避機能である新しいエマージェンシーアシストが初めて採用されています。エマージェンシーアシストは、システム作動範囲内においてドライバーの反応がないことを検知すると、視覚、聴覚、触感による警告によって運転操作を促します。それでも反応がない場合、システムがレーンガイダンスおよび段階的な減速によって制御を引き継ぎます。さらに、ハザードランプの点灯や、シートベルトおよびブレーキを用いた警告といった追加措置も行われます。

高速道路では、走行車線に隣接する空いた路肩が利用可能な場合、エマージェンシーアシストが Audi Q9 を 50km/h から 30km/h の速度域で路肩へ誘導し、安全に停止させることができます。この際、オーディオパーチャルコックピット内のメッセージおよびターンシグナルを通じてドライバーへ通知し、その後、路肩への移動を開始します。路肩へ移動できない場合、現在の走行レーン内で車両を制御しながら停止します。ドライバーからの反応が数秒間ない場合、自動的に緊急通報が作動します。

さらに Audi Q9 には、reduce（リデュース）と normal（ノーマル）という 2 つの異なるモードを備えた車線逸脱警告を新たに採用しています。リデュースモード設定時、道路がすいている状態でドライバーが車線逸脱をすると、ステアリングホイールがわずかに振動し、ディスプレイに赤いラインを表示してシンプルに警告します。このモードでは、交通状況に応じて補正ステアリング介入が適用されます。ノーマルモードでは、交通状況にかかわらず、車線逸脱時の自動ステアリング補正、視覚的な警告、およびステアリングホイールの振動が作動します。

ドイツ、アメリカ、カナダでのハンズフリー運転に対応したアダプティブドライブアシスタントプラス

Audi Q9 では、アダプティブドライブアシスタントプラスにより、認可された高速道路およびアウトバーンの区間におけるハンズフリーによる部分自動運転を初めて提供します。最高 130 km/h (85 mph) までの速度域で、ドライバーはステアリングホイールから手を離して走行することができ、システムがステアリング、加速、およびブレーキを行います。ターニングナルを操作すると、Audi Q9 は希望する方向への車線変更を支援します。この機能は長距離走行における快適性を大幅に向上させるもので、ドイツ、アメリカ、カナダから導入され、他の市場およびアウディモデルにも順次展開される予定です。

フロントバンパーに搭載された長距離レーダー、サイドレーダーセンサー、およびウインドシールド内のフロントカメラが、周囲の道路状況を検知および監視します。さらに、ナビゲーションの地図データを活用し、システムはハンズフリー走行が認可された道路区間を識別して、Audi virtual cockpit の通知によってハンズフリー走行を提案します。ドライバーが再びすべての運転操作を引き継ぐ必要がある場合には、Audi virtual cockpit 上の通知や、音と視覚による警告が段階的に発せられます。

このシステムは、SAE レベル 2 に分類される「部分自動運転」です。ドライバーは常に運転責任を負い、周囲の状況に注意を払う必要があります。ステアリングコラムに搭載されたカメラが、ドライバーの視線の位置と頭の動きを追跡し、注意状態を監視します。ドライバーの注意力が低下した場合、システムは視覚、聴覚、および触覚による段階的な警告を発します。それでもドライバーが運転操作を引き継がない場合には、エマージェンシーアシストがこの車両を制御しながら停止させます。